

## 万博を支える商社の取り組み

大阪・関西万博には国のみならず多くの民間企業が関わって、イベントを盛り上げています。ここでは万博を支えている商社の取り組みをご紹介します。

### 伊藤忠商事株式会社

#### ライセンスビジネスによる大阪・関西万博の機運醸成・認知拡大

伊藤忠グループは、電通グループと共に「2025大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」を2022年末に開設。両グループが長年にわたりブランド・ライセンスビジネスにおいて培ってきた経験とノウハウを最大限に活用し、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が保有するIP（公式ロゴマーク・公式キャラクター・デザインシステム・呼称など）を付した商品の製造・販売およびリテール展開を推進することで大阪・関西万博の価値向上と機運醸成に努めています。

アパレル・雑貨・出版・食品・飲料など幅広い分野のサブライセンシーを起用し、良質で多様な商品を展開。現在、ストアライセンシーも含めると約200社との契約締結が完了し、国内にオフィシャルストアを20店舗開設。開幕に向けて首都圏をはじめとして日本全国への機運醸成を図り、当グループのグローバルなネットワークによりさらにアジア市場への展開拡大を図り、国内外へEXPO2025ムーブメントを巻き起こします。



大阪・関西万博の情報発信基地・EXPO2025コンセプトストア（伊藤忠商事 提供）

### 岩谷産業株式会社

#### 万博会場と大阪市内を結ぶルートで国内初となる水素燃料電池船の旅客運航を実施

当社は、2025年に開催される大阪・関西万博において中之島ゲートから大阪・関西万博の会場の夢洲をつなぐ航路で、国内初の水素燃料電池船「まほろば」の旅客運航を行います。

今回の水素燃料電池船は、従来の内燃機関船と違い、走行時にCO<sub>2</sub>や環境負荷物質を排出しない高い環境性能を有するだけでなく、においがなく、騒音、振動の少ない優れた快適性を実現します。

デザインはカーデザイナーとして世界的に有名な山本卓身氏が手掛けており、水素の先進性を訴求すべく、未来を感じられる斬新なデザインとなりました。本船は海上の「動くパビリオ



ン」と位置付けており、大阪・関西万博会場までの移動を特別な体験に変え、水素エネルギーの魅力の世界に発信することを目指します。

航路は、川船と海船が行き来し水都大阪構想の重要な拠点となる中之島ゲートから大阪有数の観光スポットの近傍に位置するユニバーサルシティポートを經由し、大阪・関西万博会場となる夢洲をつなぐ運航ルートを予定しています。



万博会場と大阪市内を結ぶルートで運航する「まほろぼ」  
(岩谷産業 提供)

## 住友商事株式会社

### 大阪・関西万博への住友館出展について

住友商事は、住友 EXPO2025 推進委員会の一員として、2025年大阪・関西万博で住友館を出展します。住友館の外観は、住友の発展の礎である四国“別子の嶺”から着想を得てデザインし、山々が連続するシルエットを表現。屋根と外壁には、別子銅山の“住友の森”の木を全面的に活用しています。館内では、ランタンを片手に光や音を用いたインタラクティブな体験を通し、さまざまないのちの物語／UNKNOWN と出会う機会を提供します。森を巡る体験を終え、来場者の前に現れるのは幅 20m×高さ 7.5mほどの巨大なレイヤー構造の「パフォーミングシアター」。風やミストが来場者の感覚を揺さぶり、圧倒的な映像と音楽・人が融合



住友館の外観“住友の森”の木を全面的に活用する  
(住友 EXPO2025 推進委員会 提供)

する大迫力の演出で UNKNOWN FOREST のクライマックスを迎えます。また、未来を担う子どもたちなどによる「植林体験」イベントも実施。ここで使用した苗木が育ち、数十年後、数百年後、時を超えて、さらなる未来へとつながります。過去から継承してきた住友の森との関わりが原体験となって、森や自然との向き合いや、未来へ思いをはせる大切さを感じ続けるキッカケを提供します。

## 丸紅株式会社

### 「スマートモビリティ万博」で空飛ぶクルマ2地点間運航を目指す

丸紅は、2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）における「未来社会ショーケース事業出展」のうち、「スマートモビリティ万博」空飛ぶクルマ運航事業の事業者を選定され

ています。

本事業では、大阪・関西万博の会場内ポートと会場外ポートをつなぐ2地点間において、英国Vertical Aerospace Group Ltd.（以下、「Vertical社」）製の空飛ぶクルマ“VX4”の運航を目指します。

丸紅とVertical社は、2021年に日本国内における市場調査や事業参画検討の共同実施に関する業務提携契約を締結、空飛ぶクルマ運航ビジネスの実現に向けた検討やエコシステムの形成を進めてきました。

今後、航空業界におけるネットワークや多角的な事業活動を通じて培ったノウハウを活用し、日本における空飛ぶクルマの実装に向けた取り組みをVertical社と連携して推進し、空の移動がより安全で身近な社会を創造すると同時に、低炭素化・脱炭素化を含む気候変動対策に貢献します。



VX4の機体イメージ（丸紅提供）

### 三菱商事株式会社

#### 大阪・関西万博 三菱未来館—いのち輝く未来社会への挑戦

三菱商事は、三菱グループの一員として、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に三菱未来館を通じて参加いたします。三菱未来館では、「未知なる深海から遙かなる宇宙へ、いのちを巡る壮大な旅—JOURNEY TO LIFE」をテーマに、来館者がいのちの起源や進化、そして宇宙への広がりを経験できる没入型コンテンツを提供します。アストロバイオロジーの第一人者である東京科学大学・関根康人教授を総合監修に迎え、生命と科学とエンターテインメントを融合させた展示を行います。グローバルな制作体制により、三菱未来館でしか体験できない最高の映像を提供いたします。



「三菱未来館」パビリオンの外観イメージ（三菱大阪・関西万博総合委員会提供）

1970年の大阪万博以来、三菱グループは国際博覧会を通じて社会にメッセージを発信してまいりました。今回の万博でも、三菱グループの総力を結集した展示を通じ、皆さまに感動と新たな視点を提供し、持続可能な未来への可能性を探求し続けます。